



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社
 コード番号 4182 URL <http://www.mgc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉井 敏磨
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 加嶋 佳尚
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

TEL 03-3283-5041
 平成27年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	300,294	12.1	15,333	143.1	21,131	△7.8	18,524	△9.5
27年3月期第2四半期	267,861	0.5	6,308	△37.8	22,910	—	20,465	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 10,112百万円 (57.5%) 27年3月期第2四半期 23,770百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	41.55	—
27年3月期第2四半期	45.31	—

(注) 平成27年3月期の対前年同期比増減率(経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益)は遡及修正が行われたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	766,003	—	425,903	—	49.6	—
27年3月期	790,784	—	422,851	—	47.8	—

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 380,110百万円 27年3月期 377,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	8.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	13.3	26,500	76.7	36,000	△14.3	26,000	△40.0	58.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、P.6「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	483,478,398 株	27年3月期	483,478,398 株
28年3月期2Q	41,827,424 株	27年3月期	31,819,177 株
28年3月期2Q	445,821,431 株	27年3月期2Q	451,674,626 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の詳細は、P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成27年11月9日(月)に証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会にて使用する決算補足説明資料は、開催同日にTDnetにて開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13
4. その他	15
平成28年3月期第2四半期決算概要	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」等を「親会社株主に帰属する四半期純利益」等としております。

また、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(追加情報)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、一部の在外関連会社において国際財務報告基準(IFRS)を適用しており、当該取扱いを反映した遡及適用後の数値で前年同期比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、新興国経済の減速による影響も見られましたが、企業収益の改善や個人消費の持ち直し等により、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループにおきましては、高純度テレフタル酸事業からの撤退に伴う汎用芳香族化学品の販売数量減少、需要低迷による電子材料やポリカーボネートシート・フィルムの販売数量減少、メタノールの市況下落等がありましたが、(株)JSP等の連結子会社化等により、増収となりました。

営業利益は、電子材料やポリカーボネートシート・フィルムの販売数量が減少しましたが、円安及び原燃料価格の低下による採算改善に加え、(株)JSP等の連結子会社化もあり、増益となりました。

経常利益は、営業利益が増加したものの、メタノール市況の下落やブルネイ国生産拠点での定期修繕実施等による海外メタノール生産会社に係る持分法利益の減少や、為替差損益の悪化等により、減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上等により特別損益が改善したものの、非支配株主に帰属する四半期純利益の増加等により、減益となりました。

以上の結果、売上高3,002億円(前年同期比324億円増(12.1%増))、営業利益153億円(前年同期比90億円増(143.1%増))、持分法利益81億円(前年同期比86億円減(51.6%減))、経常利益211億円(前年同期比17億円減(7.8%減))、親会社株主に帰属する四半期純利益185億円(前年同期比19億円減(9.5%減))となりました。

事業セグメント別の業績

[天然ガス系化学品事業]

メタノールは、市況下落により減収となりましたが、単価の高い期首在庫を有していた前年同期に比べ、損益は改善しました。

メタノール・アンモニア系化学品は、円安及び原料価格の低下によりMMA系製品を中心に採算が改善したことなどから、損益が改善しました。

原油その他のエネルギー販売は、原油価格の下落等により、減収減益となりました。

以上の結果、売上高876億円(前年同期比39億円減(4.3%減))、営業利益21億円(前年同期比15億円増(237.8%増))となりました。また、海外メタノール生産会社を中心とする持分法利益を60億円計上した結果、経常利益は77億円(前年同期比95億円減(55.1%減))となりました。

[芳香族化学品事業]

特殊芳香族化学品は、メタキシレンジアミンやMXナイロンの販売数量増加に加え、円安及び原燃料価格の低下もあり、増収増益となりました。

汎用芳香族化学品は、高純度テレフタル酸事業からの撤退により売上高が減少しましたが、メタキシレンや高純度イソフタル酸の輸出採算改善等により、増益となりました。

また、(株)JSP等の連結子会社化に伴い、第1四半期より、発泡プラスチック事業の業績を計上しております。

以上の結果、売上高1,039億円(前年同期比396億円増(61.6%増))、営業利益77億円(前年同期比62億円増(400.2%増))、経常利益71億円(前年同期比74億円改善)となりました。

[機能化学品事業]

無機化学品は、ハイブリッドケミカルの販売数量が減少しましたが、海外拠点における超純過酸化水素の販売数量増加に加え、円安や過酸化水素の販売価格は正の効果もあり、増収増益となりました。

エンジニアリングプラスチックスは、原料価格の低下に伴うポリカーボネート及びポリアセタールの採算改善や、モバイル機器のカメラレンズ用途を中心とする特殊ポリカーボネートの販売数量増加等により、損益が改善しました。

ポリカーボネートシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ向けフィルムの販売数量が前年同期を下回り、減収減益となりました。

以上の結果、売上高820億円（前年同期比2億円増（0.3%増））、営業利益56億円（前年同期比24億円増（76.0%増））となりました。また、エンジニアリングプラスチック関連会社を中心とする持分法利益を20億円計上した結果、経常利益は58億円（前年同期比28億円増（98.1%増））となりました。

[特殊機能材事業]

電子材料は、主力の半導体パッケージ向けBT材料の販売数量が、スマートフォン市場の成長鈍化やその他エレクトロニクス製品の需要低迷の影響により減少したことから、減収減益となりました。

「エージレス®」等の脱酸素剤は、消費増税の影響により需要が落ち込んだ前年同期に比べ、国内食品用途の販売数量が増加したことに加え、輸出も伸長したことから、増収増益となりました。

以上の結果、売上高264億円（前年同期比35億円減（11.9%減））、営業利益11億円（前年同期比11億円減（50.0%減））、経常利益8億円（前年同期比16億円減（65.5%減））となりました。

[その他の事業]

その他の事業の売上高は3億円（前年同期比0億円増（6.9%増））、営業利益は0億円（前年同期比0億円減（42.8%減））、経常利益は0億円（前年同期比8億円減（93.5%減））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて247億円減少の7,660億円となりました。

流動資産は、279億円減少の3,441億円となりました。これは、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものです。

固定資産は、32億円増加の4,218億円となりました。有形固定資産は、減価償却などにより、20億円減少の2,338億円となりました。投資その他の資産は、関係会社株式の持分法利益の計上などにより、55億円増加の1,790億円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べて278億円減少の3,401億円となりました。

流動負債は、174億円減少の2,076億円で、これは、支払手形及び買掛金の減少などによるものです。

固定負債は、103億円減少の1,324億円で、これは、長期借入金の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて30億円増加の4,259億円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、利益剰余金が増加したことなどによるものです。その結果、自己資本比率は49.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第2四半期累計の個別及び連結業績について、決算数値が確定した結果、平成27年8月3日に公表した業績予想との差異が生じました。個別業績については、修繕費等の固定費が前回予想を下回ったことに加え、特殊ポリカーボネートを始めとする機能化学品の収益改善等により、営業利益が増加したことなどから、前回予想を上回る結果となりました。

また、連結業績についても、電子材料子会社の業績は前回予想を下回ったものの、個別業績の改善に加え、発泡プラスチックや電子工業用薬品等の子会社業績も上振れたことなどから、前回予想を上回る結果となりました。

連結業績

平成28年3月期 第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	310,000	11,000	17,000	14,000	31 11
実績(B)	300,294	15,333	21,131	18,524	41 55
増減額(B-A)	△9,706	4,333	4,131	4,524	—
増減率(%)	△3.1	39.4	24.3	32.3	—

個別業績

平成28年3月期 第2四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	170,000	5,000	8,000	8,000	17 78
実績(B)	159,875	7,785	11,546	10,184	22 84
増減額(B-A)	△10,125	2,785	3,546	2,184	—
増減率(%)	△6.0	55.7	44.3	27.3	—

平成28年3月期の連結業績予想については、天然ガス系化学品の市況下落や電子材料の販売数量減少があるものの、芳香族化学品や機能化学品の採算改善等により、営業利益は前回予想を上回る見通しです。しかしながら、海外子会社での為替差損の発生や、メタノール市況の下落による海外メタノール生産会社に係る持分法利益の減少等により、経常利益は前回予想を下回る見通しです。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、親会社での税金費用の増加等もあり、前回予想を下回る見通しです。

平成28年3月期の個別業績予想については、芳香族化学品及び機能化学品の採算改善により営業利益が前回予想を上回る見通しであることに加え、関係会社からの受取配当金の増加により、経常利益も前回予想を上回る見込みです。一方、税金費用の見直しにより、当期純利益は前回予想並みとなる見通しです。

なお、業績予想の前提となる為替レートは、未経過月を1米ドル120円、1ユーロ130円としております。

連結業績予想の修正

平成28年3月期 通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	620,000	25,000	37,000	29,000	64	45
今回発表予想（B）	600,000	26,500	36,000	26,000	58	32
増減額（B－A）	△20,000	1,500	△1,000	△3,000	—	
増減率（%）	△3.2	6.0	△2.7	△10.3	—	
（参考）前期実績 （平成27年3月期通期）	529,570	14,996	42,000	43,346	95	97

個別業績予想の修正

平成28年3月期 通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	330,000	11,000	26,000	25,000	55	35
今回発表予想（B）	320,000	12,500	29,000	25,000	56	08
増減額（B－A）	△10,000	1,500	3,000	—	—	
増減率（%）	△3.0	13.6	11.5	—	—	
（参考）前期実績 （平成27年3月期通期）	385,213	9,327	46,655	42,857	94	89

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りと区別することが困難な会計方針の変更及び会計上の見積りの変更)

一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、一部を除く有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更は、中期経営計画の策定を契機に有形固定資産の使用状況を検討した結果、生産高、稼働率等が長期安定的に推移するものと見込まれ、定額法による減価償却が設備の使用実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

また、減価償却方法の検討を契機に有形固定資産の経済的使用可能期間を検討した結果、一部の国内連結子会社の有形固定資産の耐用年数をより実態に即した経済的使用可能期間の予測に基づく耐用年数に変更しております。

この結果、従来の方によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益は563百万円増加、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は567百万円増加しております。

(追加情報)

(在外関連会社における国際財務報告基準の適用)

在外関連会社のMETANOL DE ORIENTE, METOR, S. A. に持分法を適用するにあたり、従来、米国会計基準に準拠して作成された同社財務諸表を基礎としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準(IFRS)に準拠して作成された同社財務諸表を基礎としております。

当該取扱いは遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,043百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は1,664百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,327	54,257
受取手形及び売掛金	152,711	144,705
有価証券	18,137	16,137
商品及び製品	65,476	65,669
仕掛品	12,707	12,616
原材料及び貯蔵品	32,173	30,505
その他	32,611	24,219
貸倒引当金	△3,978	△3,943
流動資産合計	372,166	344,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	75,836	73,793
機械装置及び運搬具（純額）	87,249	84,670
その他（純額）	72,837	75,381
有形固定資産合計	235,923	233,845
無形固定資産		
のれん	4,836	4,687
その他	4,377	4,233
無形固定資産合計	9,214	8,921
投資その他の資産		
投資有価証券	164,654	169,376
その他	8,936	9,796
貸倒引当金	△110	△103
投資その他の資産合計	173,481	179,068
固定資産合計	418,618	421,835
資産合計	790,784	766,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,323	68,961
短期借入金	104,155	100,382
未払法人税等	2,148	1,796
引当金	5,533	5,720
その他	33,907	30,758
流動負債合計	225,068	207,620
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	69,932	62,099
引当金	2,779	3,072
退職給付に係る負債	5,586	5,973
資産除去債務	3,685	3,721
その他	35,879	32,612
固定負債合計	142,864	132,479
負債合計	367,932	340,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,595	35,590
利益剰余金	279,540	299,180
自己株式	△8,131	△15,560
株主資本合計	348,974	361,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,612	14,168
繰延ヘッジ損益	—	26
土地再評価差額金	217	217
為替換算調整勘定	4,950	1,881
退職給付に係る調整累計額	2,888	2,637
その他の包括利益累計額合計	28,669	18,930
非支配株主持分	45,207	45,792
純資産合計	422,851	425,903
負債純資産合計	790,784	766,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	267,861	300,294
売上原価	231,134	240,451
売上総利益	36,726	59,842
販売費及び一般管理費	30,418	44,508
営業利益	6,308	15,333
営業外収益		
受取利息	91	243
受取配当金	1,524	1,615
持分法による投資利益	16,754	8,113
その他	1,237	1,267
営業外収益合計	19,608	11,240
営業外費用		
支払利息	1,277	1,224
為替差損	—	2,465
出向者労務費差額負担	615	661
その他	1,112	1,091
営業外費用合計	3,006	5,442
経常利益	22,910	21,131
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,444
補助金収入	—	301
受取保険金	—	136
受取補償金	1,055	—
権益譲渡益	792	—
負ののれん発生益	198	—
固定資産売却益	139	—
特別利益合計	2,185	3,882
特別損失		
関係会社整理損	—	1,028
事業構造改善費用	1,143	388
リース解約損	—	147
減損損失	519	—
のれん償却額	476	—
特別損失合計	2,139	1,564
税金等調整前四半期純利益	22,956	23,448
法人税等	1,951	2,852
四半期純利益	21,005	20,596
非支配株主に帰属する四半期純利益	540	2,072
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,465	18,524

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	21,005	20,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,555	△6,407
繰延ヘッジ損益	—	29
為替換算調整勘定	1,335	△2,439
退職給付に係る調整額	184	△270
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,310	△1,396
その他の包括利益合計	2,765	△10,484
四半期包括利益	23,770	10,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,851	8,786
非支配株主に係る四半期包括利益	918	1,326

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,956	23,448
減価償却費	11,574	13,115
減損損失	519	—
のれん償却額	476	132
負ののれん発生益	△198	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	△90
固定資産処分損益 (△は益)	306	329
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	340	166
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△61	△61
受取利息及び受取配当金	△1,616	△1,858
支払利息	1,277	1,224
持分法による投資損益 (△は益)	△16,754	△8,113
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△75	△3,444
関係会社整理損	—	1,028
補助金収入	—	△301
事業構造改善費用	1,143	388
リース解約損	—	147
受取保険金	△13	△136
受取補償金	△1,055	—
権益譲渡益	△792	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,609	7,378
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,157	792
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,139	△9,944
未払消費税等の増減額 (△は減少)	824	△927
その他	△1,132	△2,726
小計	27,606	20,548
利息及び配当金の受取額	1,605	1,832
持分法適用会社からの配当金の受取額	13,192	1,162
利息の支払額	△1,333	△1,213
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△654	4,068
補助金の受取額	—	1,909
保険金の受取額	13	203
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,429	28,510

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	37	—
固定資産の取得による支出	△9,394	△13,831
固定資産の売却による収入	764	191
投資有価証券の取得による支出	△279	△5,465
子会社株式の取得による支出	△50	—
投資有価証券の売却による収入	109	3,939
貸付けによる支出	△1,139	△3,680
貸付金の回収による収入	171	3,768
その他	2,203	△673
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,576	△15,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7,475	△845
長期借入れによる収入	2,831	3,818
長期借入金の返済による支出	△6,956	△14,875
自己株式の取得による支出	△5	△7,429
配当金の支払額	△2,710	△3,161
非支配株主への配当金の支払額	△414	△838
その他	△1,889	△765
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,621	△24,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,358	684
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,590	△10,653
現金及び現金同等物の期首残高	37,310	72,678
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	373	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,274	62,024

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式10,000,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が7,429百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が15,560百万円となっております。

また、従来決算日が12月31日であった一部の在外持分法適用関連会社は、第1四半期連結会計期間より、決算日を3月31日に変更しており、当該会社の平成27年1月1日から平成27年3月31日までの損益4,277百万円は利益剰余金に直接計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	天然ガス系 化学品事業	芳香族化学品 事業	機能化学品 事業	特殊機能材 事業	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	91,537	64,288	81,775	29,959	299	—	267,861
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,211	1,097	611	0	51	△7,972	—
計	97,749	65,385	82,387	29,960	351	△7,972	267,861
セグメント損益 (経常損益)	17,271	△352	2,937	2,497	887	△330	22,910

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント損益の調整額△330百万円は、セグメント間取引消去△30百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△300百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「天然ガス系化学品事業」において339百万円、「特殊機能材事業」において519百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「機能化学品事業」において476百万円のものれんが発生しております。なお、当該のものれんについては、特別損失において「のれん償却額」として一括償却しております。

(重要な負のものれん発生益)

「天然ガス系化学品事業」ほかにおいて、負のものれん発生益198百万円を計上しております。報告セグメント毎の金額は、「天然ガス系化学品事業」が137百万円、「芳香族化学品事業」が29百万円、「機能化学品事業」が0百万円、「特殊機能材事業」が0百万円、「その他の事業」が30百万円であります。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	天然ガス系 化学品事業	芳香族化学品 事業	機能化学品 事業	特殊機能材 事業	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	87,619	103,907	82,041	26,404	320	—	300,294
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,269	1,175	685	16	43	△7,190	—
計	92,888	105,083	82,727	26,421	364	△7,190	300,294
セグメント損益 (経常損益)	7,758	7,122	5,819	861	57	△488	21,131

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない上場関連会社、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント損益の調整額△488百万円は、セグメント間取引消去△9百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△478百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(減価償却方法及び耐用年数の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計上の見積りと区別することが困難な会計方針の変更及び会計上の見積りの変更)」に記載のとおり、一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、減価償却方法及び耐用年数を変更しております。

この結果、従来の方によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント損益は「芳香族化学品事業」で313百万円増加、「機能化学品事業」で129百万円増加、「特殊機能材事業」で124百万円増加しております。

(在外関連会社における国際財務報告基準の適用)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(追加情報)」に記載のとおり、一部の在外関連会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。当該取扱いは遡及適用され、前年同期については遡及適用後のセグメント情報となっております。

当該取扱いに伴い、前第2四半期連結累計期間は遡及適用を行う前と比べて、「天然ガス系化学品事業」のセグメント損益が1,043百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「芳香族化学品事業」において66百万円、「特殊機能材事業」において647百万円の減損損失を計上しております

4. その他

平成28年3月期第2四半期 決算概要

①連結経営成績

(単位:億円)

	平成27年3月期 第2四半期累計	平成28年3月期 第2四半期累計	増減額		平成27年3月期 通期実績	平成28年3月期 通期予想
			増減額	増減率		
売上高	2,678	3,002	324	12.1%	5,295	6,000
天然ガス系化学品事業	977	928	△48	△5.0%	1,976	1,827
芳香族化学品事業	653	1,050	396	60.7%	1,233	2,148
機能化学品事業	823	827	3	0.4%	1,660	1,648
特殊機能材事業	299	264	△35	△11.8%	582	538
その他の事業及び調整額	△76	△68	7	—	△156	△162
営業利益	63	153	90	143.1%	149	265
天然ガス系化学品事業	6	21	15	237.8%	27	39
芳香族化学品事業	15	77	62	400.2%	30	140
機能化学品事業	32	56	24	76.0%	82	90
特殊機能材事業	22	11	△11	△50.0%	38	23
その他の事業及び調整額	△13	△14	△0	—	△28	△28
営業外損益	166	57	△108	△65.1%	270	95
経常利益	229	211	△17	△7.8%	420	360
天然ガス系化学品事業	172	77	△95	△55.1%	272	148
芳香族化学品事業	△3	71	74	—	10	119
機能化学品事業	29	58	28	98.1%	91	87
特殊機能材事業	24	8	△16	△65.5%	40	16
その他の事業及び調整額	5	△4	△9	—	5	△12
特別損益	0	23	22	—	40	△20
税金等調整前四半期(当期)純利益	229	234	4	2.1%	460	340
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	204	185	△19	△9.5%	433	260
1株当たり四半期(当期)純利益	45.31円	41.55円	△3.76円		95.97円	58.32円
1株当たり配当金	7.0円	8.0円	1.0円		14.0円	16.0円

※平成28年3月期第2四半期連結範囲 連結子会社 77社 持分法適用会社 13社

営業外損益項目

持分法による投資損益	167	81	△86	△51.6%	278	150
金融収支	3	6	2	87.0%	△1	—
為替差損益	0	△24	△25	—	5	—
その他	△5	△4	0	—	△12	△55
営業外損益合計	166	57	△108	△65.1%	270	95

特別損益項目

投資有価証券売却益	—	34	34	—	28	
補助金収入	—	3	3	—	16	
受取保険金	—	1	1	—	—	
受取補償金	10	—	△10	—	10	
権益譲渡益	7	—	△7	—	7	
負ののれん発生益	1	—	△1	—	1	
段階取得に係る差益	—	—	—	—	20	
特別利益その他	1	—	△1	—	7	
関係会社整理損	—	△10	△10	—	—	
事業構造改善費用	△11	△3	7	—	△10	
リース解約損	—	△1	△1	—	—	
減損損失	△5	—	5	—	△11	
のれん償却額	△4	—	4	—	△4	
固定資産圧縮損	—	—	—	—	△16	
特別損失その他	—	—	—	—	△11	
特別損益合計	0	23	22	—	40	△20

②連結財政状態

(単位:億円)

	平成27年3月期末	平成28年3月期 第2四半期末	増減額
流動資産	3,721	3,441	△ 279
有形・無形固定資産	2,451	2,427	△ 23
投資その他の資産	1,734	1,790	55
資産合計	7,907	7,660	△ 247
有利子負債	2,156	2,033	△ 122
その他の負債	1,523	1,367	△ 155
負債合計	3,679	3,401	△ 278
株主資本	3,489	3,611	122
その他の包括利益累計額	286	189	△ 97
非支配株主持分	452	457	5
純資産合計	4,228	4,259	30
負債純資産合計	7,907	7,660	△ 247

③連結キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	平成27年3月期 第2四半期累計	平成28年3月期 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	404	285	△ 119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 75	△ 157	△ 81
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 166	△ 240	△ 74
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	6	△ 6
現金及び現金同等物の増減額	175	△ 106	△ 282
現金及び現金同等物の期首残高	373	726	353
連結子会社の決算期変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	3	—	△ 3
現金及び現金同等物の期末残高	552	620	67

④各種指標推移(連結)

	平成24年3月期 実績	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 実績	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 予想
設備投資額(億円)	424	309	254	222	350
(うち第2四半期累計)	224	177	138	103	149
減価償却費(億円)	277	230	235	237	270
(うち第2四半期累計)	134	107	114	115	131
研究開発費(億円)	174	153	161	168	190
(うち第2四半期累計)	88	72	80	80	92
人員(人)	5,216	5,323	5,445	8,254	8,298
ROA(総資産経常利益率)	4.5%	4.6%	4.8%	5.8%	4.6%
ROE(自己資本利益率)	4.4%	△2.8%	5.0%	12.6%	6.8%
配当額	12.0円	12.0円	12.0円	14.0円	16.0円
(うち第2四半期末)	6.0円	6.0円	6.0円	7.0円	8.0円
平均為替レート	4~9月 80円/ドル	4~9月 79円/ドル	4~9月 99円/ドル	4~9月 103円/ドル	4~9月 122円/ドル
	4~3月 79円/ドル	4~3月 83円/ドル	4~3月 100円/ドル	4~3月 110円/ドル	4~3月 121円/ドル
メタノール市況 (アジアスポット平均価格)	1~6月 349 ^{ドル} /MT	1~6月 385 ^{ドル} /MT	1~6月 375 ^{ドル} /MT	1~6月 432 ^{ドル} /MT	4~9月 294 ^{ドル} /MT
	7~12月 385 ^{ドル} /MT	7~12月 364 ^{ドル} /MT	7~12月 449 ^{ドル} /MT	7~12月 358 ^{ドル} /MT	10~3月 270 ^{ドル} /MT